

# 第72次(2023年)技術教育・家庭科教育全国研究会

主催：産業教育研究連盟

## 目的

教職志望の学生がいない、必要な教員採用が困難になっているなど、教育行政に関わる問題が大きなニュースになっています。この問題は、技術教育・家庭科教育においては20年以上も前から危惧されていたことです。

2021年に刊行された『技術・家庭科ものづくり大全』（産業教育研究連盟編、合同出版）には連盟設立以来の豊富な実践が集積されており、読み込むほどに子どもの成長する姿を描くことができますが、今夏の研究会では、伝統的な実践内容にも目を向けながら、技術教育・家庭科教育の理論的探究を中心に据えて実施します。

## 日程・時程 2023年8月5日(土)～8月6日(日)

日 時	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
8/5(土)				受付 昼食(各自)		研究会 I		連盟 総会		
8/6(日)		受付	研究会 II	まとめ の会						

## 会場 新潟大学教育学部

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

集合場所：教育学部大会議室(3階) 現地連絡先：TEL 080-4359-3272(鈴木)

## 交通

### ★JR新潟駅から電車を利用の場合

JR越後線柏崎方面「内野」「吉田」「柏崎」行き → 「新潟大学前駅」または「内野駅」下車 → 会場までタクシーで約5分、徒歩で15分

### ★JR新潟駅からバスを利用の場合：新潟駅北口(万代口)下車

新潟交通「新潟駅前バスターミナル」発「西小針経由新潟大学」行きまたは「新潟大学経由内野」行きに乗車 → 「新大西門」で下車

## 参加費 1,000円(当日、受付時に研究会会場で)

## 宿泊 岩室温泉「ゆもとや」

〒953-0104 新潟市西蒲区岩室温泉91-1 TEL 0256-82-2015(代) <https://yumotoya.co.jp>

一泊二食 20,000円(税込み)(1室2名の場合) 研究会会場と宿との往復は車に分乗(予定)

## 申込み

産業教育研究連盟のホームページ(<http://www.sankyoren.com>)からお願いします。できるだけ事前の申込みをお願いします。

上記の旅館以外で宿泊あるいは宿泊なしで参加の場合は当日現地受付も可

## 問い合わせ先

事務局 野本勇 〒224-0006 横浜市都筑区荏田東4-37-21 TEL 045-942-0930

mail:isa05nomoto@snow.plala.or.jp

## その他

- ・『技術・家庭科ものづくり大全』をお持ちの方はご持参ください。現地で販売もします。
- ・上記の旅館を利用の場合は、宿泊料金の支払いは当日、現地の旅館で行います。

## プログラム

<8月5日(土)>

12:00～ 受付

### 13:00～16:00 研究会 I

- ①技術科教育の現状と課題 ……………鈴木賢治
  - 「教員養成・採用と学校教育の課題」
  - 教職の魅力はうまく伝わっているか
  - 「海外および日本の情報教育の現状と課題」
  - 人間的成長を願う情報教育になっているか
  - 技術科教育の本質は何か
  - 「技術科教育の理論的探究の重要性」
- ②和光中学校の技術科教育のカリキュラムの検討 ……………亀山俊平
  - 「1969年以降の独自カリキュラムの成果と課題」

### 16:00～ 連盟総会

活動報告、会計決算報告、会計予算案検討  
機関誌「産教連通信」の編集体制  
刊行書『技術・家庭科ものづくり大全』販売のその後など

<8月6日(日)>

### 9:30～11:30 研究会 II

レポート発表と討議

- ①生活をとおして学ぶ技術と日本語 ……………根本裕子
  - 「外国籍の子どもたちの日本語習得奮戦記」
- ②技術教育の理論的探究 ……………亀山俊平, 三浦基弘
  - 「交流の成り立ちをどう捉えるか」
  - 「力学をどう教えるか」

参加者からのレポート発表や日頃感じている疑問や問題点などについても、ここで討議しますので、レポートは大歓迎です。皆さんの授業実践などのレポートをご持参ください。また、自作の教材・教具や授業アイディアなども、この場で紹介できます。

資料は20部程度をご用意ください。

### 11:30～12:00 まとめの会

研究会を総括するまとめの会です。

**産業教育研究連盟(略称 産教連)**は、技術教育・家庭科教育に関わりのある小・中・高・大学の教員や学生などで運営している民間教育研究団体です。ホームページで日常の活動を公開しています。

職業教育研究会は1949年2月に発足し、1954年9月に産業教育研究連盟と改称し、今日に至っています。その間、1952年から、毎年、研究大会を開いています。現在は研究会という名称になっています。第1次からの研究大会の開催年月日・開催地・大会テーマ等が「技術教室」1994年3月号(No. 500)に掲載されています。また、第60次までの研究大会の報告について、「技術教室」11月号(2010年は12月号)に掲載されています。「技術教室」誌は産業教育研究連盟(産教連)ホームページから見るすることができます。